

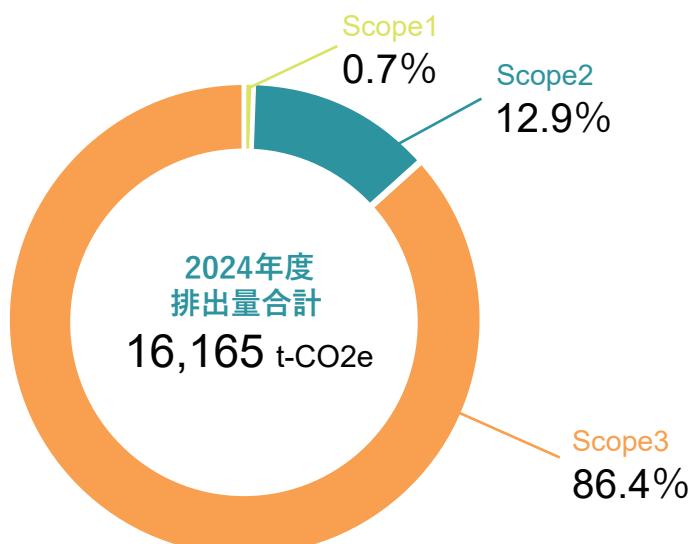
## フューチャーグループ 温室効果ガス排出量

フューチャーグループは環境対応をリードする企業グループとして、2021年度より「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）原則」のScope1、2、3の分類に準拠したグループ全体の温室効果ガス排出量を算出しています。2024年度の排出量および社員一人あたりの排出量は以下のとおりです。

なお当社グループの事業活動における温室効果ガス排出量は、オフィス活動によるものが中心であり、自社でのデータセンター運営は行っておりません。そのため、Scope1およびScope2の排出量は他業種と比較して限定的です。

区分	2024年度
Scope1	203
Scope2	2,464
Scope3	13,498
合計	16,165

※2024年度の排出量算出に際しては、排出係数の見直しなど算出方法の一段の精緻化を行った結果、現時点では2021～2023年度の排出量との連続性は確保されておりません（現在、2021～2023年度のGHG排出量についても遡及して再計算を進めております）。



### 社員一人あたりの温室効果ガス排出量

(単位 : t-CO2e)

区分	2024年度
社員数 (2024年12月末時点・連結)	3,499人
社員一人あたりの排出量	4.6

#### ◆対象企業 14社

フューチャー株式会社、フューチャーアーキテクト株式会社、フューチャーインスペース株式会社、FutureOne株式会社、株式会社リヴァンプ、フューチャーアーティザン株式会社、フューチャーセキュアウェイブ株式会社、株式会社YOCABITO、東京カレンダー株式会社、コードキャンプ株式会社、ライブリツツ株式会社、ネイロ株式会社、株式会社キュリオシティ、Future Global Design Pte. Ltd.

#### ◆区分

- Scope1 グループ企業のオフィス等における燃料の使用などによる直接的な排出
- Scope2 グループ企業のオフィス等における購入した電気による間接的な排出
- Scope3 サプライチェーンにおける間接的な排出（Scope1、Scope2を除く）

◆算出方法

- Scope1、Scope2：TCFD原則に基づき燃料、電力使用量等から算出（燃料および電力使用量はアートヴィレッジ大崎セントラルタワー、ThinkPark Tower、大崎ウエストシティタワーズ等のオフィスビルの使用分を集計）
  - Scope3：GHG プロトコル（Greenhouse Gas Protocol）によるScope3基準のカテゴリ分類に沿って、グループ会社各社の該当する活動に利用する資材、サービス費用を抽出。各費用に対して円単位のCO2排出係数を乗じ、排出量を算出。CO2排出係数は原則として積み上げベースで算出されたものを円換算し利用。固定資産に関しては有形固定資産を対象に算出。
- ※グループ子会社が行う一部物販事業に関するサプライチェーン上の間接的な排出量が含まれていないほか、Scope3のカテゴリ9、12、14、15において未捕捉の部分があるが、全体への影響は僅少と考えられる。算出方法については今後も精緻化に努める。

Scope3 カテゴリー	算出方法
カテゴリ1 購入した製品・サービス	委託作業料、設備維持費、ウォーターサーバや飲料代等費用、費用×売上原価割合×CO2排出係数
カテゴリ2 資本財	有形固定資産×排出係数
カテゴリ3 Scope1、2に含まれない燃料及びエネルギー活動	水道利用量×排出係数、リモートワーク稼働時間×1h当たりの電気利用量×CO2排出係数
カテゴリ4 輸送、配送（上流）	（排出係数を購入者ベースで算出できる包括的係数を利用しているため、個別での算出を行っていない）
カテゴリ5 事業から出る廃棄物	廃棄費用×CO2排出係数（国内年間廃棄部門のCO2排出量から算出）
カテゴリ6 出張	出張距離×タクシー、電車、飛行機の1人1kmあたりのCO2排出原単位
カテゴリ7 雇用者の通勤	通勤距離×タクシー、電車、飛行機の1人1kmあたりのCO2排出原単位
カテゴリ8 リース資産（上流）	各製品の減価償却費（製品種別ごと）×CO2排出係数
カテゴリ9 輸送、配送（下流）	（※）
カテゴリ10 販売した製品の加工	保守利用外部ソフトウェアで算出されているカーボンフットプリントツールを加算対象
カテゴリ11 販売した製品の使用	（保守利用外部ソフトウェアで算出されているカーボンフットプリントツールを加算対象に含まれる仮定）
カテゴリ12 販売した製品の廃棄	（※）
カテゴリ13 リース資産（下流）	（利用している排出係数が積み上げベースであることから他カテゴリで捕捉済みと考えられる）
カテゴリ14 フランチャイズ	該当なし
カテゴリ15 投資	（※）